



2017年3月24日

NTTコミュニケーションズ株式会社
日本マイクロソフト株式会社

NTTコミュニケーションズと日本マイクロソフトが 企業の柔軟・迅速な事業展開を支えるハイブリッドクラウド基盤の展開で協業

NTTコミュニケーションズ株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長：庄司 哲也、以下：NTT Com）と、日本マイクロソフト株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 社長：平野 拓也、以下：日本マイクロソフト）は、企業向けのハイブリッドクラウド基盤の共同開発・営業連携のため、2017年4月より協業を開始します。

日本マイクロソフトが提供するクラウドサービス「Microsoft Azure」と、NTT Com が提供するクラウドサービス「Enterprise Cloud」を効果的に組み合わせ、エンタープライズ企業のお客さまがグローバル全域で一体的に利用できるハイブリッドクラウド基盤として、両社が市場へ展開します。また、中堅・中小企業向けには Office 365 による働き方改革ソリューションの提供も新たに開始いたします。これにより、中小企業からエンタープライズ企業まで、より多くのお客さまの迅速・柔軟な事業展開に貢献します。

<本協業に基づく新たなアクションについて>

(1) 「Enterprise Cloud」と「Microsoft Azure」を統合したハイブリッドクラウド

両社は、多彩なメニューによりお客さまのニーズにきめ細やかに対応可能な「Enterprise Cloud」と、より安価にスケーラブルなコンピューティングリソースを提供する「Microsoft Azure」をシームレスに統合したハイブリッドクラウドサービスを共同開発・提供します。

具体的には 2017 年 4 月より、NTT Com が「Azure Site Recovery」「Azure Backup」「Azure Virtual Machines」「Azure Storage」を「Enterprise Cloud」のオプションとして提供開始します。NTT Com が提供する管理ポータル「CMP^{※1}」によるハイブリッドクラウド環境の一元管理、契約からサポートまで一元窓口対応が可能となり、ERP などミッションクリティカルなシステムにおける DR 環境構築やバックアップを柔軟・迅速に実現できます。

さらに今後は、AI を活用したビッグデータの分析機能といった「Microsoft Azure」の豊富な PaaS を順次「Enterprise Cloud」のオプションとして加えていきます。またハイブリッドクラウド環境自体の更なる利便性・信頼性向上に向けて、SDx 技術を活用し、高速・高品質な相互接続環境をオンデマンドで提供できるよう両社で取り組んでいきます。

(2) 「Microsoft Azure」の運用管理サービスの提供

NTT Com の企業向け ICT 基盤運用管理サービス「Global Management One」の対象サ

ービスに「Microsoft Azure」(IaaS)を2017年4月1日より追加します。「Microsoft Azure」や「Enterprise Cloud」によるハイブリッドクラウド環境において、複雑になりがちな日々の運用業務や、サイトリカバリの定期リハーサルなどのBCP対策までをトータルにアウトソースすることで、お客さまの運用負荷軽減を含むTCO削減が可能となります。

また、従来「Global Management One」が対象としているOS、DB、Storage、FW、LB、ネットワークなどを含む他のICT基盤も運用アウトソースの対象にすることで、お客さまのICT基盤全体のグローバル統一の仕様・品質での運用・管理を実現します。

(3) 中堅・中小企業のお客さまに向けた Office365 による働き方改革ソリューションの提供

NTT Com が提供する各種ネットワークおよびアプリケーションサービスと Microsoft Office365 を連携させ、企業、組織そして社員の生産性を高めるソリューションの展開により、中堅・中小企業の働き方改革の推進を支援します。具体的には、今後以下の取り組みを両社で推進していきます。

- Office365 と NTT Com のサービスとを、契約・サポートなどを一元化したシームレスなソリューションとして提供し、お客さまのクラウドシフト、テレワーク、コラボレーションの活性化を実現
- 両社のクラウドサービスの利用に必要なプロセスを自動化・簡略化し、お客さまの迅速な事業活動を支援
- NTT Com のコンタクトセンターによる手厚いサポートを提供し、お客さまのクラウド導入と利用推進を支援

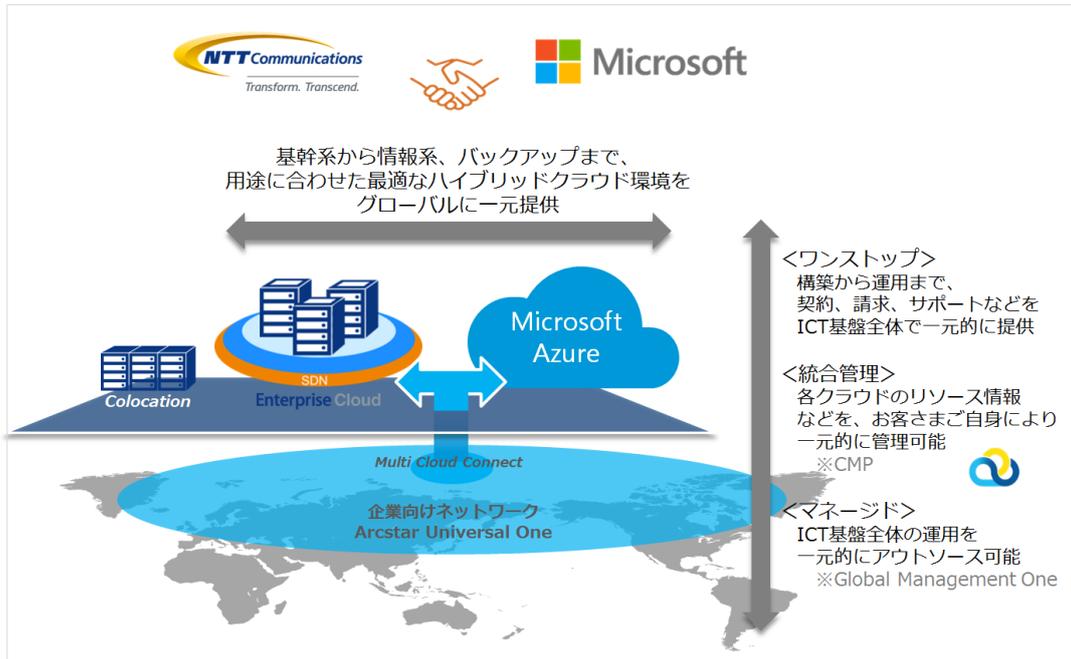
(4) 人材育成について

両社は連携し、NTT Com の 100 名以上のエンジニアに対してマイクロソフトのクラウドサービスの技術習得を進めます。

<本協業の継続と今後の展開について>

両社は、双方の強みである、グローバルに展開するネットワーク・データセンターを含むクラウド基盤やクラウドベースのアプリケーションサービスなどを活かし、サービス開発、販売促進、人材育成などにおける連携を進め、市場変化に迅速に対応する先進的なソリューションを展開することで、より多くのお客さまの ICT 環境の最適化、経営改革（デジタルトランスフォーメーション）に貢献していきます。

<参考 ハイブリッドクラウド基盤イメージ>



(記載されている会社名、製品名やサービス名は各社の登録商標または商標です。)

※1 : Cloud Management Platform の略称。Enterprise Cloud メニューとサードパーティのクラウドの両方において、効率的な管理運用力と統合された一元ビューを提供します。